

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070300690		
法人名	特定非営利法人 団		
事業所名	認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘		
所在地	長野県上田市大屋239-3		
自己評価作成日	平成 25年 11月 2日	評価結果市町村受理日	平成 25年 12月 18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kajikokensaku.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&JigyosyoCd=2070300690-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 25年 11月 15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様お一人おひとりが寄り添い安心し生き生きと生活していただきたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは国道18号線となしの鉄道にはさまれた住宅地の一角にあり開設から11年目を迎えている。利用者の平均介護度も3.3と比較的高い方が多く、認知症高齢者の日常生活自立度もかなり高くなっており、利用開始時から介護度と日常生活自立度の高い方が多くなってきている。そのような、すべてに職員の手を必要としている中で、毎朝10時からビデオを見ながらのラジオ体操第1と第2、足の体操、嚙下体操、小学校唱歌「ふるさと」の斉唱などを毎日の日課として継続し自主性につながるようになっている。利用者が集うリビングの壁には利用者一人ひとりの「希望すること」、「やりたいこと」、「ホームに来て良かったこと」、「月の目標」などが掲示されており利用者の日々の糧となっている。職員も人生の機微にふれることのできるベテランの方が多く、利用者の日々の表情や仕草から一人ひとりの喜怒哀楽を敏感に感じとっている。共同生活の中でも一人ひとりを大切にしており、ホームの運営理念にある「やさしいまなざし」や「手のぬくもり」を職員から受けている利用者からは「ごめんね」、「ありがとう」という信頼感から発せられる言葉がごく自然に返ってきており、ベテランの職員にもなお一層の励みとなっている。一般の住宅よりやや広いコンパクトな共有空間の中で利用者のペースに合わせた平穏な暮らしが営まれている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		